

2019年1月11日

アズワン殿町ソリューションリサーチラボにて、日本組織培養学会主催の細胞培養士認定講習を開催します。

1. 趣旨

2019年2月より、日本組織培養学会主催の細胞培養認定制度「細胞培養基盤技術コース」のコースⅠを、当社のライフサイエンス機器での受託ラボである殿町ソリューションリサーチラボにて開催します。

殿町ソリューションリサーチラボが位置するライフイノベーションセンターは、殿町国際戦略拠点キングスカイフロントに位置しており、周辺にライフサイエンス関連企業が集積し、再生医療の中心となっています。当ラボで日本組織培養学会の細胞培養基盤技術コースに必要な設備等を提供し、人材の育成と輩出の一端を担ってまいります。

2. 日本組織培養学会と細胞培養士認定制度

現在、細胞を用いた研究は、広範な生命科学研究分野で極めて基本的で必要不可欠なものとなりました。しかし、細胞培養の方法、技術、考え方は研究室単位で継承され、指導書や技術研修はほとんど標準化されてきませんでした。

その結果、研究室によって実験結果が異なる事例や、マイコプラズマによる細胞汚染や、細胞の取り違いといった研究基盤を脅かす事態が数多く報告されています。

日本組織培養学会は、そのような研究現場の状況を打開し、安全で高品質な細胞を使用し科学的に安定した研究成果が産出されるように、培養技術を標準化することを目指して、細胞培養士認定制度を確立しました。細胞培



(写真左から)

井内 卓嗣 アズワン株式会社 社長

浅香 勲 日本組織培養学会 学会長、
京都大学 iPS 細胞研究所 教授

片岡 健 日本組織培養学会 細胞培養基盤
教育委員会 委員長、
岡山理科大学 教授

古江(楠田) 美保 日本組織培養学会 評議員、
株式会社ニコン フェロー

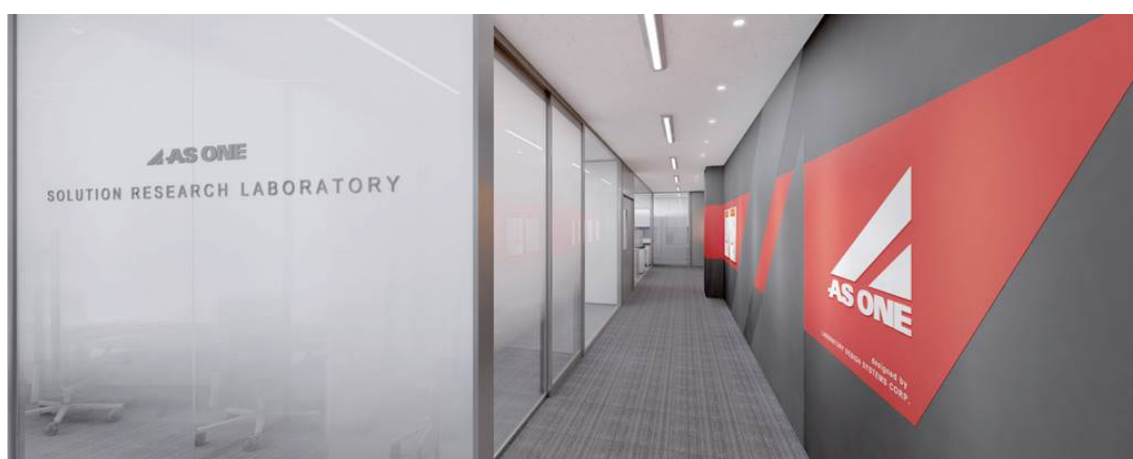
養士認定制度は、学会員が細胞培養基盤技術コースⅠⅡⅢを順次受講し修了することで、細胞培養士の資格を学会認定で授与するものです。2012年の設立以降、これまでに65名が細胞培養士に認定されました。

3. アズワンでの細胞培養基盤技術コースⅠについて

(1) 内容 日本組織培養学会主催の細胞培養認定制度「細胞培養基盤技術コース」Ⅰ～Ⅲのうち、コースⅠのみ開催します。コースⅠでは、細胞培養の基本を理解し、細胞株を適切な方法で培養するための座学・実習が行われます。

(2) 時期 2019年2月より年4回程度

(3) 場所 〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番22号
ライフィノベーションセンター 219号室
アズワン株式会社 殿町ソリューションリサーチラボ



- (4) 受講資格 日本組織培養学会会員
※前年度から学会に入会している会員が対象。
- (5) 参加予定人数 3～4 名／回
- (6) 評価 学習目標に対する技能ならびに知識の到達度を評価します。
- (7) 受講生の所属機関の例 大学、研究所、病院、製薬企業、バイオサイエンス関連企業、食品関連企業など

※注意※

1. 細胞培養基盤技術コースを受講するには、受講日の前年度から日本組織培養学会に入会していることが必要です。
2. 学会入会や受講のお申し込みは学会を通して行ってください。アズワンは一切関与できませんのでご了承ください。
3. 今後の開催日程は、学会委員会で決定次第、会員メールおよび学会 HP にて公開されます。
4. その他、受講に関する詳細は以下をご参照ください。

＊日本組織培養学会細胞培養基盤技術コース

<http://www.jtca.net/course-outline/>

参考 URL：

＊アズワン株式会社 殿町ソリューションリサーチラボ

<https://axel.as-1.co.jp/contents/assre/showroom>

＊日本組織培養学会

<http://www.jtca.net/>

以上